

平成31～32年度使用

都立特別支援学校（中学部）用
教科書調査研究資料

（特別の教科 道徳）

平成30年7月

東京都教育委員会

目 次

【平成31～32年度使用都立特別支援学校（中学部）用 教科書調査研究資料について】	2
1 採択の権限と教科書調査研究	2
2 調査研究の視点	2
3 調査研究の工夫	3
【特別の教科 道徳】	5
聴覚障害特別支援学校	6
肢体不自由・病弱特別支援学校	9

平成31～32年度使用都立特別支援学校（中学部）用教科書調査研究資料について

1 採択の権限と教科書調査研究

教科書を採択する権限は、公立学校については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により、所管の教育委員会に属する。すなわち、都立学校については東京都教育委員会、区市町村立学校については区市町村立教育委員会が教科書の採択を行うとされている。

都道府県教育委員会は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条及び第11条の規定により、教科書の調査研究を行うこと、区市町村教育委員会並びに国立及び私立の義務教育諸学校の校長に対し、指導、助言又は援助を行うこと、その際には、あらかじめ教科用図書選定審議会の意見をきかなければならないことが定められている。

教科書の採択は、実際に生徒の手に渡り授業等で使用される教科書を決定するということから、採択権者にとって重要な責務の一つである。そのため、教科書の採択に当たっては、各採択権者の責任と権限の下、それぞれの地域の生徒にとって最も適した教科書を採択するという観点から十分かつ綿密な調査研究を行うことが必要である。

東京都教育委員会は、東京都教科用図書選定審議会の答申を受けて「教科書調査研究資料」を作成し、これを参考資料の一つとして、都立の義務教育諸学校における教科書採択を行っている。

2 調査研究の視点

平成18年に改正された教育基本法においては、教育の理念として、公共の精神を尊ぶこと、環境の保全に寄与すること、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与することが新たに規定された。

このような改正教育基本法等の理念を踏まえ、平成21年に特別支援学校学習指導要領が改訂された。この学習指導要領においては、引き続き、児童に「生きる力」を育むという理念に基づき、確かな学力を育成するための要素として、基礎的・基本的な知識・技能の習得、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立、豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実、などの考えが示された。

道徳については、平成26年2月に中央教育審議会に「道徳に係る教育課程の改善等について」が諮問され、道徳教育専門部会において道徳の時間の新たな枠組みによる教科化の在り方等について検討が行われ、道徳の時間については「特別の教科 道徳」（仮称）として制度上位置付け、道徳教育の改善・充実に向けて必要な事項が答申として示された。この答申を踏まえ、平成27年3月に中学校学習指導要領が一部改正され、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として新たに位置付けられた。

あわせて、社会の変化や幼児・児童・生徒の障害の重度・重複化、多様化などに対応し、障害のある生徒一人一人の特性に応じた指導の充実が必要となっている。

東京都教育委員会では、平成31年度からの実施に向け新たに検定を経た「特別の教科 道徳」の教科書について、東京都教科用図書選定審議会の答申に基づき、上記の経緯や生徒の障害の状態及び特性等を考慮し、厳正かつ客観的に調査研究を行った。

【参考・平成30年4月16日 東京都教科用図書選定審議会答申（抜粋）】

東京都教育委員会は、都立特別支援学校の中学部で使用する「特別の教科 道徳」の教科書の採択に当たって、生徒の障害の状態や特性等を考慮し、次の項目について学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、各教科書の違いが明瞭に分かるように調査研究すること。

- ア 内容
- イ 構成上の工夫

3 調査研究の工夫

調査結果を教科書調査研究資料としてまとめるに当たっては、生徒の実情を考慮し、聴覚障害特別支援学校、肢体不自由・病弱特別支援学校で使用する各教科書の違いが簡潔・明瞭に分かるように配慮し、調査項目を「内容」及び「構成上の工夫」の2区分とするとともに、採択権者による実際の選択に「より参考になるもの」となるよう、次のような工夫を行った。

(1) 内容

調査研究項目は、学習指導要領の教科書の目標及び内容項目等や東京都教育委員会の基本方針等を踏まえて作成された「平成31～32年度使用教科書調査研究資料（中学校）」を参考にした。それに加えて、障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる内容、障害に対する配慮を要する内容については、各障害の特質を踏まえた観点を決め、各教科書の該当する箇所数を数値データで示すとともに、文章で簡潔に記述した。

(2) 構成上の工夫

障害のある生徒が使用しやすい編集、表記、造本であるか等について調査研究をした。文字の大きさ等、数値データで表せるものは数値データで表し、数値で表すことができないそれぞれの教科書の工夫については文章で記述した。

【参考・調査研究資料の構成】

1 調査研究の対象となる教科書の冊数と発行者

「冊数」は、文部科学省作成の「中学校用教科書目録（平成31年度使用）」に記載された教科書の点数である。

「発行者」には、同目録に記載された「発行者の略称」を用い、掲載順も同目録の掲載順に従った。

2 教科書の調査研究

「平成31～32年度使用教科書調査研究資料（中学校）」に基づく調査研究結果と都立特別支援学校における障害種別の具体的な観点による調査研究結果を障害種別に下記のようにまとめた。

(1) 内容

内容についての調査研究項目について、学習指導要領に基づく教材数等は、「平成31～32年度使用教科書調査研究資料（中学校）」を引用した。

障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことのできる教材があるもの、また、障害があるために教科書に掲載された学習内容が難しかったり、指導上で配慮を要したりする点については、各障害の特質を押さえて観点を明らかにし、各教科書の該当する箇所数を数値データで示すとともに、文章で簡潔に分かりやすく記述した。

(2) 構成上の工夫

振り仮名の有無、文字の大きさ等については、障害のある生徒が使用しやすい編集、表記であるか等について調査研究し、数値データで記述した。総ページ数、本の大きさについては、文部科学省の教科書目録にあるページ数を掲載した。

また、「その他」として、各障害の特質に応じた観点から考えられる構成上の工夫について、文章で記述した。

特別の教科 道徳

発行者			教科書の記号・番号	総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東書	道徳 721 821 921	580	平成30年
11	学校図書	学図	道徳 722 822 922	682	
17	教育出版	教出	道徳 723 823 923	563	
38	光村図書	光村	道徳 724 824 924	695	
116	日本文教出版	日文	道徳 725・726 825・826 925・926	720	
224	学研教育みらい	学研	道徳 727 827 927	554	
232	廣済堂あかつき	廣あかつき	道徳 728・729 828・829 928・929	720	
233	日本教科書	日科	道徳 730 830 930	582	

校種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
生徒の実態 観点	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について 2 障害への配慮を要する内容等について 	<ul style="list-style-type: none"> ① 聴覚障害の理解に関わる記述（手話等の多様なコミュニケーション手段に関するもの）があるもの ② 聴覚障害のある生徒が視覚的に理解しやすい具体的な内容であるもの
構成上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ① 言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの ② インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの ③ 方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ① 視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの ② 病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験活動を扱った教材が取り上げられているもの ③ 各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの
その他 障害の状態に応じた事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの 	<ul style="list-style-type: none"> ① 外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの ② 通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ③ ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの

中学部 特別の教科 道徳(聴覚障害特別支援学校)

発行者の番号 略 称	2 東書	11 学図	17 教出	
内 容	「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	23	21	20
	「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	23	18	20
	「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	43	48	44
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	25	18	21
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	27	47	16
	先人の伝記等が取り上げられている教材数	37	41	52
	役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている数	8	4	6
	聴覚障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について ① 聴覚障害の理解に関わる記述(手話等の多様なコミュニケーション手段に関するもの)があるもの ② 聴覚障害のある生徒が視覚的に理解しやすい具体的な内容であるもの	34か所 ① 3年「たとえぼくに明日はなくても」では、聴覚障害者に関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P179) ② 3年「合格通知」では、本文とともにスマートフォンの画面のイラストを示してあり、視覚的に理解しやすい。(P106)	22か所 ① 1年「小さな一歩」では、「手話コーラス」という記述があり、興味をもって取り組める。(P178) ② 3年「うるわしき伝統」では、登場人物の意見を段落別に示しており、個々の意見が理解しやすい。(P84)	19か所 ① 該当なし ② 1年「『いじり』?『いじめ』?」では、幾つかの状況を示したイラストを参考に、具体的な場面を想定して考えることができる。(P38)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ① 言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの ② インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの ③ 方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの	29か所 ① 3年「缶コーヒー」では、イヤホンで音楽を聞いている場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P84) ② 3年「言葉おしみ」では、日常会話の中で挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P16) ③ 1年「桜に集う人の思い」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P142)	12か所 ① 3年「命に響く『雅楽』 東儀秀樹」では、楽器の音を聞き取る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P25) ② 1年「ご挨拶の勧め」では、地域の人と挨拶を交わす場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P152) ③ 2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P156)	10か所 ① 3年「テーブルの卵焼き」では歌声を聞き取る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P120) ② 1年「おはよう」では、地域の人と挨拶を交わす場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P12) ③ 3年「憧れの消防団」では、方言が多用されているため、説明が必要である。(P128)
	本の大きさ	AB	AB	B5
総ページ数	580	682	563	
本文の文字の大きさ	10.5ポイント	12ポイント	11ポイント	
1ページの基本的な文字数	44文字×23行	41文字×22行	43文字×19行	
欄外の文字の大きさ	8ポイント	7.5ポイント	7.5ポイント	
構成上の工夫	振り仮名 その他 障害の状態に応じた事項聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの	未習得及び難読漢字 ・ 1年「火の鳥」では、本文の内容に関連する写真を鮮明に示している。(P113) ・ 2年「住みよい社会に」では、資料の冒頭に考えるための観点を示している。(P20)	未習得及び難読漢字 ・ 1年「誰も知らない」では、資料の冒頭に主題を示すとともに、考えるためのポイントをマークで示している。(P6) ・ 2年「自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること」では、本文の語句や内容等の理解を促すイラストや写真を示している。(P172)	未習得及び難読漢字 ・ 2年「短所を武器とせよ」では、資料の末尾に色付きの枠囲みで、話し合い活動の要点を質問形式で示している。(P25) ・ 3年「歩きスマホをどうするか」では、主題を考えるための材料として、ポスターやグラフ、関連する規定などを示している。(P18)
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

注:「内容」の「聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「聴覚障害への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。

中学部 特別の教科 道徳(聴覚障害特別支援学校)

発行者の番号 略 称	38 光村	116 日文	224 学研	
内 容	「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	27	21	24
	「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	24	18	22
	「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	36	45	37
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	21	21	22
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	43	47	43
	先人の伝記等が取り上げられている教材数	38	42	61
	役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている数	4	8	3
	聴覚障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について ① 聴覚障害の理解に関わる記述(手話等の多様なコミュニケーション手段に関するもの)があるもの ② 聴覚障害のある生徒が視覚的に理解しやすい具体的な内容であるもの	32か所 ① 1年「ヘレンと共にーアニー・サリバン」では、視覚・聴覚障害者の意思伝達手段に関する記述があり、興味をもって取り組める。(P27) ② 3年『知らないよ。』では、学校生活の身近な場面を取り上げており、具体的な場面を想定して考えることができる。(P29)	28か所 ① 3年「自分・相手・周りの人」では、聴覚障害があることを表す耳マークを示している。(P125) ② 2年「ライバル」では、対話文で示しており、劇化することで体験的に学習ができる。(P112)	19か所 ① 3年「五井先生と太郎」では、聴覚障害者に関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P155) ② 1年「あるピエロの物語」では、対話文で示しており、劇化することで体験的に学習ができる。(P28)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ① 言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの ② インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの ③ 方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの	4か所 ① 1年「銀色のシャープペンシル」では、合唱に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P159) ② 2年「紙芝居」では、子供に紙芝居を読み聞かせる場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P194) ③ 1年「なおしもん」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P123)	11か所 ① 1年「いつわりのバイオリン」では、楽器の音に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P188) ② 1年「篠崎街道」では、初対面の外国人と会話をする場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P166) ③ 3年「思いを伝えることの難しさ」では、断定を避ける「ぼかし言葉」の説明が必要である。(P50)	6か所 ① 3年「笛」では、笛の音に聴き入る場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P55) ② 1年「挨拶しますか、しませんか」では、様々な場面での挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P20) ③ 2年「黒蜘蛛の元次」では、「失礼するぜ」など特徴的な言い回しがあるため、説明が必要である。(P144)
	本の大きさ	B5	B5	A4
総ページ数	695	720	554	
本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	11ポイント	
1ページの基本的な文字数	49文字×21行	49文字×21行	48文字×24行	
欄外の文字の大きさ	7ポイント	7.5ポイント	8ポイント	
構成上の工夫	振り仮名 その他 障害の状態に応じた事項聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの	未習得及び難読漢字 ・ 1年「自分で決めるって？」では、主題に対する考えを促す図やイラスト、吹き出しを示している。(P8) ・ 2年「宇宙の始まりに思いを寄せて」では、本文の内容に関連する写真を鮮明に示している。(P124)	未習得及び難読漢字 ・ 1年「部活の帰り」では、資料の冒頭に登場人物の顔を絵で示している。(P74) ・ 3年「『稲むらの火』余話」では、地図や実際の写真、本文の内容の理解を促すイラストを示している。(P84)	未習得及び難読漢字 ・ 1年「公平とはなんだろう」では、主題を考えるための材料として、状況を示す場面ごとにイラストを示している。(P118) ・ 2年「備えあれば」では、主題を考えるための材料として、図やグラフ、吹き出しを示している。(P174)
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

注:「内容」の「聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「聴覚障害への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。

中学部 特別の教科 道徳(聴覚障害特別支援学校)

発行者の番号 略 称	232 廣あかつき	233 日科		
内 容	「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	24	20	
	「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	21	23	
	「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	36	47	
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	24	21	
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	34	15	
	先人の伝記等が取り上げられている教材数	49	51	
	役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている教材数	2	0	
	聴覚障害のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について ① 聴覚障害の理解に関わる記述(手話等の多様なコミュニケーション手段に関するもの)があるもの ② 聴覚障害のある生徒が視覚的に理解しやすい具体的な内容であるもの	16か所 ① 2年「燃え盛る炎」では、聴覚障害者との関わりに関する記述があり、聴覚障害への理解につながる。(P37) ② 3年「アイツの進路選択」では、友達との関わりに関する内容やイラストから、自分に置き換えて考えることができる。(P72)	21か所 ① 2年「絶望からの生還」では、視覚障害と聴覚障害のある人の半生が述べられており、障害への理解につながる。(P177) ② 3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」では、イラストとともに登場人物の様々な意見から、自分の考えを深める学習ができる。(P90)	
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ① 言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの ② インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの ③ 方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの	12か所 ① 1年「地下鉄で」では、バスの車内アナウンスを聞く場面があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P96) ② 1年「半分おとな 半分こども」では、地域の人との挨拶に関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P29) ③ 2年「地図のある手紙」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P146)	15か所 ① 2年「母のアナウンス」では、バスの車内アナウンスに関する記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ② 1年「おはよう」では、地域の人と挨拶を交わす記述があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P44) ③ 3年「ひさの星」では、方言が用いられているため、説明が必要である。(P150)	
	構 成 上 の 工 夫	本の大きさ	AB	B5
総ページ数		720	582	
本文の文字の大きさ		12ポイント(1年生) 11ポイント(2、3年生)	10ポイント	
1ページの基本的な文字数		38文字×21行(1年生) 43文字×24行(2、3年生)	45文字×21行	
欄外の文字の大きさ		8ポイント	7.5ポイント	
振り仮名		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	
その他 障害の状態に応じた事項 聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの		・ 1年「この人生の主人公」では、資料の末尾に色付きの枠囲みで、学習の手掛かりや話し合い活動の要点を示している。(P5) ・ 3年「ベビーカー論争」では、主題を考えるための材料として、本文の内容に関する調査結果をグラフで示している。(P124)	・ 1年「ペーパーバード」では、本文は無く、想像力を膨らませるようなイラストのみを示している。(P130) ・ 2年「こんなとき、どうしたらいいの?」では、街中で障害のある人が困っている状況を表したイラストと吹き出しを示している。(P97)	
参 考		国旗・国歌の扱い	あり	あり
		防災や自然災害の扱い	あり	あり
		性差と家族に関する表現	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	

注:「内容」の「聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「聴覚障害への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。

中学部 特別の教科 道徳(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者の番号 略 称	2 東書	11 学図	17 教出	
「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	23	21	20	
「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	23	18	20	
「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	43	48	44	
「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	25	18	21	
情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	27	47	16	
先人の伝記等が取り上げられている教材数	37	41	52	
役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている数	8	4	6	
内 容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について	38か所	44か所	50か所
	① 肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの ② 学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの	① 2年「左手でつかんだ音楽」では、上肢に障害のある人の様子を取り上げている。(P36) ② 1年「忘れ物」では、日常の忘れ物についての考えを取り上げている。(P152)	① 2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」では、車椅子ランナーについて取り上げている。(P154) ② 1年「自分らしさとは」では、公開授業について取り上げている。(P68)	① 1年「ショートパンツ初体験 inアメリカ」では、デュアルスキーの選手のことを取り上げている。(P92) ② 2年「まだ食べられるのに」では、学校給食を取り上げている。(P19)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について	81か所	76か所	79か所	
① 視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの ② 病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験活動を扱った教材が取り上げられているもの ③ 各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの	① 2年「三つのいのちについて考える」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P142) ② 3年「高く遠い夢」では、エベレスト登山について取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P90) ③ 1年「席替え」では、学級での話し合い活動を教材として取り上げている。(P90)	① 1年「災害に備える」では、火災の様子が記載されており、取り扱う際には配慮が必要である。(P123) ② 1年「自然教室のできごと」では、登山を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P156) ③ 2年「私の存在」では、部活動での話し合い活動を教材として取り上げている。(P20)	① 1年「不自然な独り言」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P27) ② 3年「僕は友達を裏切ったのか？」では、新入部員募集停止になった野球部を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P10) ③ 1年「けやき中を誇りに」では、合唱コンクールに向けたグループ練習などを教材として取り上げている。(P86)	
本の大きさ	AB	AB	B5	
総ページ数	580	682	563	
本文の文字の大きさ	10.5ポイント	12ポイント	11ポイント	
1ページの基本的な文字数	44文字×23行	41文字×22行	43文字×19行	
欄外の文字の大きさ	8ポイント	7.5ポイント	7.5ポイント	
構 成 上 の 工 夫	振り仮名	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	その他 障害の状態に応じた事項 ① 外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの ② 通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ③ ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになってきているもの	① 1年「火の島」では、地図や火山の実際の様子を、大きな写真で示している。(P113) ② 2年「みんなでとんだ！」など、資料の冒頭に本文の簡単な解説を示している。(P82) ③ 3年「人間の命とは一人間の命の尊さ・大切さを考える」では、見開き2ページで、資料と問いを整理して示している。(P74)	① 2年「命を救う防災」では、津波が押し寄せている様子を写真で示している。(P216) ② 1年「誰も知らない」など、全学年の全ての資料の末尾に、資料について考えてほしいことを示している。(P13) ③ 1年「さあ、楽しい夏休み！」など、夏休みの過ごし方について、見開きページで示している。(P82)	① 2年「海と空～檜野の人々～」では、本文の内容に即した地図、当時の新聞記事、複数の写真などを示している。(P129) ② 1年「あなたが うまれたひ」など、全学年で各資料の冒頭と末尾に、思考を深めるための問いを示している。(P6) ③ 1年「最強の敵 最大の友」など、取り上げる資料の長さによって、見開き2～4ページで示している。(P64)
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

※「内容の「肢体不自由・病弱である生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。

中学部 特別の教科 道徳(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者の番号 略 称	38 光村	116 日文	224 学研	
「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	27	21	24	
「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	24	18	22	
「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	36	45	37	
「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	21	21	22	
情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	43	47	43	
先人の伝記等が取り上げられている教材数	38	42	61	
役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている数	4	8	3	
内 容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について	47か所	64か所	23か所
	① 肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの ② 学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの	① 2年「アダプテッド・スポーツって何だろう」では、障害の有無に関係なく楽しめるスポーツを取り上げている。(P90) ② 3年「『知らないよ。』」では、文化祭の取組について取り上げている。(P29)	① 3年「No Charity.but a Chance!」では、障害者福祉に尽力した医師を取り上げている。(P28) ② 2年「ヨシト」では、学級での友達同士で会話の様子を取り上げている。(P122)	① 3年「スポーツの力 佐藤真海」では、陸上競技のパラリンピアンを取り上げている。(P160) ② 1年「クラスメイト」では、学級の人間関係を取り上げている。(P130)
内 容	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について	55か所	40か所	66か所
	① 視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの ② 病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験活動を扱った教材が取り上げられているもの ③ 各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの	① 3年「『落葉』—菱田春草」では、作品説明の文と資料写真が別ページにあり、取り扱う際には配慮が必要である。(P170) ② 1年「自然教室での出来事」では、登山が題材として取り上げられており、取り扱う際には配慮が必要である。(P12) ③ 3年「ほくの物語 あなたの物語」では、グループでの話し合い活動が取り上げられている。(P66)	① 2年「包む」では、包む活動を教材としており、取り扱う際には配慮が必要である。(P158) ② 1年「疾走、自転車ライダー」では、自転車で疾走する少年を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P68) ③ 3年「昔と今を結ぶ糸」では、修学旅行での班別行動についてのグループや学級での話し合い活動を教材として取り上げている。(P22)	① 3年「スポーツの力 佐藤真海」などでは、記入欄が小さく、筆記に困難が想定されるため、取り扱う際には配慮が必要である。(P165) ② 1年「金色の稲穂」では、水田での米作りの様子が取り上げられており、取り扱う際には配慮が必要である。(P92) ③ 3年「私たちの合唱コンクール」では、全校で取り組む合唱コンクールを教材として取り上げている。(P108)
構 成 上 の 工 夫	本の大きさ	B5	B5	A4
	総ページ数	695	720	554
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	11ポイント	11ポイント
	1ページの基本的な文字数	49文字×21行	49文字×21行	48文字×24行
構 成 上 の 工 夫	欄外の文字の大きさ	7ポイント	7.5ポイント	8ポイント
	振り仮名 その他 障害の状態に応じた事項 ① 外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの ② 通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ③ ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになってきているもの	未習得及び難読漢字 ① 2年「カラカラカラ」では、電車の中や駅のホームの様子をイラストで示している。(P45) ② 3年「小さな出来事」など、全ての単元の冒頭に、教材のテーマが記されている。(P13) ③ 2年「『いじめ』と『いじり』」などのコラムは、見開きで示している。(P68)	未習得及び難読漢字 ① 1年「木の声を聞く」では、藤の木を、クレーンで運ぶ写真で示している。(P119) ② 2年「盲導犬になるまで」など、要所に学習内容の理解を助けるコラムを示している。(P25) ③ 2年「『自分』ってなんだろう」など、要所に学習の進め方を見開きで示している。(P82)	未習得及び難読漢字 ① 2年「星置きの滝」では、滝が流れる様子を、写真で示している。(P89) ② 2年「旗」など、全学年のほとんどの資料の末尾に、「クローズアップ」などとして、資料との関連情報や視点の異なる関連情報が示されている。(P19) ③ 1年「日曜日の朝に」など、全学年のほとんどの「クローズアップ」では見開き2ページ以内で示している。(P90)
参 考	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	性差と家族に関する表現	あり	あり	あり
	オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

※「内容の「肢体不自由・病弱である生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。

中学部 特別の教科 道徳(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者の番号 略 称	232 廣あかつき	233 日科
「主として自分自身に関すること」を扱っている教材数	24	20
「主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数	21	23
「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数	36	47
「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数	24	21
情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	34	15
先人の伝記等が取り上げられている教材数	49	51
役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れた学習が扱われている数	2	0
内容 肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心を持って取り組むことができる教材等について ① 肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの ② 学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの	38か所 ① 1年「ある日のバッテリーボックス」では、小児麻痺の児童が野球をする様子を取り上げている。(P116) ② 3年「卒業文集最後の二行」では、卒業文集から学校生活を振り返る様子を取り上げている。(P36)	34か所 ① 1年「オレは最強だ!」では、プロ車いすテニスプレイヤーの活躍を取り上げている。(P16) ② 3年「リョウとマキ～Stand by Me～」では、学校で友人と話している様子を取り上げている。(P73)
内容 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ① 視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの ② 病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験活動を扱った教材が取り上げられているもの ③ 各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの	48か所 ① 全学年「別冊」の最終ページにある「心のおしり」は、罫線が無く、文章で記述していくことには困難が想定されるため、配慮が必要である。 ② 2年「加奈子の職場体験」では、職場体験を取り上げており、取り扱う際には配慮が必要である。(P77) ③ 1年「銀色のシャープペンシル」では、合唱コンクールの練習の様子を教材として取り上げている。(P124)	35か所 ① 3年「西田幾多郎」では、写真上に文字が書かれており、取り扱う際には配慮が必要である。(P27) ② 1年「いつもいっしょに」では、バレーボールの部活動を題材にしており、取り扱う際には配慮が必要である。(P47) ③ 3年「学校や学級集団の一員として」では、多数数の話し合い活動を教材として取り上げている。(P125)
構成上の工夫 本の大きさ	AB	B5
総ページ数	720	582
本文の文字の大きさ	12ポイント(1年生) 11ポイント(2、3年生)	10ポイント
1ページの基本的な文字数	38文字×21行(1年生) 43文字×24行(2、3年生)	45文字×21行
欄外の文字の大きさ	8ポイント	7.5ポイント
振り仮名	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
その他 障害の状態に応じた事項 ① 外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等の視覚情報での説明がなされているもの ② 通院等による学習期間の空白を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの ③ ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの	① 3年「高砂丸とポトマック川のこと」では、救助活動の様子について写真で示している。(P134) ② 1年「この人生の主人公」など、全学年の全ての資料の末尾に、学習の手掛かりを示している。(P5) ③ 1年「情報機器によるコミュニケーションを考える」では、資料を見開きで示している。(P174)	① 1年「希望の風に」では、山なみの風景を写真で示している。(P138) ② 1年「命をつくるもの」など、各教材の末尾には、その教材の考えを深めてほしいポイントが、強調された色付き囲みで示されている。(P15) ③ 3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」では、障害による差別の解消について討論する様子を見開きで示している。(P90)
参考 国旗・国歌の扱い	あり	あり
防災や自然災害の扱い	あり	あり
性差と家族に関する表現	あり	あり
オリンピック、パラリンピックの扱い	あり	あり

※「内容」の「肢体不自由・病弱である生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について」及び「肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について」は、該当する箇所数及び主なものを記載した。